

会 議 録

会議名称	令和8年度第1回地域生活支援専門部会
日 時	令和8年（2026年）6月25日（木）9:30～11:30
会 場	越谷市役所第三庁舎5階 会議室10
出席者	【出席委員】 齊間委員、田井委員、中山委員、石塚委員、柳沼委員、村上委員、石黒委員、上薄委員 【事務局】 （障害福祉課）近藤調整幹、佐藤副課長、藤本主幹、対馬主幹、高島主幹、益本主事、石井主事 （こども福祉課）梅澤主幹
配付資料等	【配布資料】 ・次 第 ・事業実施確認表（各地区提出分） ・越谷市障がい者等基幹相談支援センター稼働状況の検証について ・検証実施の流れ（委員用） ・相談支援事業仕様書 ・地域生活支援専門部会 部会員名簿 ・事務局職員等一覧
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 基幹相談支援センター事業実施状況の検証について (2) その他 3 閉会
会議内容	1 開会 2 議事 (1) 基幹相談支援センター事業実施状況の検証について 提出資料に基づき各地区の事業実施状況の確認を実施。委員より以下のような意見が挙げられた。 【良かった点】 ・MSの方とのつながりは、地域定着の観点からも非常によいものであると思うので、今回のような集まりに参加し、基幹の説明を行うことは非常に大切なことだと思う。 ・全体的に目の前のケース対応だけでなく、相談支援体制のシステムづくりに取り組んでいるように感じる。 ・社会資源について、フォーマルだけでなくインフォーマルな視点をもって地域の中での本人に対する支援に取り組んでいるところが印象に残った。 ・医療との連携も図っているように感じる。今後は福祉だけでは解決が難しい課題については医療と連携しつつ課題解決が重要であると思われる

め、良い取り組みであると思う。

- ・自分たちだけで抱え込まず、他機関の名前がよく挙げられている。
- ・地域包括支援センターと一緒に動き対応したことが良く伝わり、8050問題に課題意識を強く持ったのだと読み取れた。
- ・具体的な内容、数字などが記載されており、実態や動きがよくわかる内容となっている。また、全体的に細かく事業内容が記載されており、丁寧に対応していることが伝わった。
- ・1件ずつ丁寧に対応する中で、しっかりと実施内容等が確認表にまとめられている。
- ・相談支援事業所やGH巡回相談など、地域の体制づくりに非常に取り組まれている。
- ・「傾聴」は、計画相談が対応するケースも多くあるが、それを基幹が対応することで、本来の計画作成等の業務に従事することができており、非常に相談支援事業所を助けてくれている。
- ・文書全体として、完結するような記載はなく、途中経過のような記載になっており、自分たちが行っている取り組みについて、よく課題分析が行われている報告であると感じる。
- ・最初の窓口としての役割をしっかりと認識して対応されていると感じた。
- ・継続した地域生活を意識した支援を丁寧に行っているという点や相談者自身で解決できるような自立に向けた支援を行っているという点が印象的だった。
- ・緊急時の支援件数が8件となっており、適切に対応されている。
- ・地域の相談機関との連携強化に関して、地域の民生委員も含めと記載があり、地域のニーズや課題の抽出などが行えるため非常によい取り組みであると思う。
- ・本人を中心とした相談対応、コーディネートを意識しているように思う。社会資源の情報を非常に持っており、様々な社会資源を取り入れつつ、そのうえで本人主体の支援が行われている。
- ・特定の障がい種別に特化せずまんべんなく対応しており、良い意味で振り回されているように思う。事業所に職員が不在になる点は、フットワークが軽くすぐに対応しているとも読み取れる。
- ・全体的に厳しい自己評価となっており、様々な業務を行うなかで、しっかり振り返り、見直しができています。

【改善点・意見等】

- ・見えてきた課題について、対応は難しいというような割り切りを感じるような記載箇所があり、課題等に対する検討も意欲的に進めていただきたい。
- ・強みがでるのは良いことであると思うが、特化しすぎてしまうこともよくないと考えている。各地区あらゆる相談を受けるとされているなかで、多方面のスキルアップに向けた取り組みも大切になると思う。
- ・「事務所に職員が不在とならないように連携がとれている」は、相談者が電話をした時に繋がらないと諦めてしまうといったこともあるため、不在とならないように対応が必要であると思う。
- ・インターバル期間の課題対応は、様々な目的のもと行われている。今後は本来の目的達成に向けた視点と基幹としての負担感など様々な視点を踏まえてしっかりと検討する必要がある。
- ・課題と感じている部分がしっかりと記載されており、現場の相談員が挙げている課題に対してサポートの体制が整えられると良いと思う。
- ・差別や苦情相談は少なからずあると思われるため、計上できるように行政

も交えた検討が必要。

- ・多岐にわたる相談が多い中、専門的な領域にも対応できるよう勉強会等にも実施、参加していく必要がある。
- ・ピアカウンセリングについては、イベント等の実施は関係づくりの一環であると思うが、さらに本来のピアカウンセリング支援に繋げることができると良いと思う。
- ・記録の積み上げは事業継続をしていく場合には、振り返りにも活用されるため、実施方法等含めて検討する必要がある。
- ・記載内容が、「～した」などの完結したような記載で、客観的な振り返りや支援、課題等に対する葛藤などがあまりないような印象を受けたため、もう少しそれぞれの内容について掘り下げていくことができると良い。
- ・完結しようとする点は、良い点でもあり、課題でもあるところであるが、基幹内だけで抱え込まずに外部に頼っていくことも大切になると思う。
- ・基幹として課題と感じている部分にどのように活かしていくのかを検討することが重要であると考えられるため、今後の取組みとして期待したい。

(2) その他

事務局より事務連絡を行う。

3 閉会